

<b>エマメクチン安息香酸塩・ルフェヌロン水和剤</b> <b>アフームエクセラ顆粒水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> シンジェンタ  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ, シンジェンタ
<b>成分：</b> エマメクチン安息香酸塩〔マクロライド系 PRTR・1種〕…0.70% ルフェヌロン〔IGR（脱皮阻害）PRTR・2種〕……2.5%	<b>性状：</b> 類白色水和性細粒  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】 .....

- 経口毒性と経皮毒性を併せ持ち、速攻的な効果と残効性を有する。
- 優れた浸透性で葉裏・葉内に潜む対象害虫に優れた効果を示す。
- チョウ目害虫の成育ステージにかかわらず安定した効果を示す。卵に対しても効果を示す。
- 作物に対する安全性が高く、幼苗期からの使用でも葉害リスクが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 .....

- チョウ目害虫に対して速効的な効果と長い残効を併せ持つことから、定植直後の予防的防除から結球始期の害虫密度低下を狙った防除まで幅広い散布適期で利用できる。
- 葉害が少なく幼苗期から収穫期までの作物の生育ステージを選ばず使用でき、害虫の発生が増加した直後の時期から輪番防除のスタート剤として使用することで、作期を通して害虫密度を低く抑制する。

### 【薬効・葉害等の注意】 .....

- 植物体内での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布する。
- 本剤の連続散布は、本剤に対する抵抗性を発達させるおそれがあるので、作用性の異なる他の薬剤との輪番で使用する。

### 【安全対策上の注意】 .....

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ及びマルハナバチ等を放飼中の施設や果樹園などでは、散布直後から1日後まではハチを移動させるか巣門を閉じる。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	エマメクチン安息香酸塩 を含む農薬の総使用回数	ルフェエロンを含む 農薬の総使用回数				
キャベツ	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ タマナギンウワバ	1000～ 1500倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内				
	ネギアザミウマ	1000倍										
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～ 1500倍							14日前 まで			
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	1500倍		7日前 まで								
	シロイチモジヨトウ	1000～ 1500倍								前日まで	2回以内	
ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	1000倍	2回以内			4回以内							
ピーマン	オオタバコガ ハスモンヨトウ			1500倍			前日まで	2回以内	2回以内			4回以内
なす	オオタバコガ											
トマト	オオタバコガ											
ミニトマト	ハモグリバエ類	5回以内		2回以内								
ブロッコリー	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ	1000～ 1500倍		7日前 まで	3回以内		3回以内	3回以内	3回以内			
	オオタバコガ	3日前 まで										
	ナモグリバエ									1000倍		
レタス 非結球レタス	オオタバコガ	1500倍		前日まで	2回以内					2回以内	2回以内	
きゅうり	ミナキイロアザミウマ ウリノメイガ											3回以内
のぎわな チンゲンサイ	コナガ ハモグリバエ類						3回以内	2回以内				
すいか	ミナキイロアザミウマ	2回以内		2回以内								
メロン	アザミウマ類 ウリノメイガ				1000倍				前日まで	2回以内	2回以内	
茶	チャハマキ ヨモギエダシャク チャノキイロアザミウマ						200～ 400 ℓ	摘採7日前 まで				1回